

令和 5 年度事業計画

令和 5 年度は、ポストコロナとして今後の時代の趨勢や社会変化などに柔軟に対応し、令和 4 年度から新たに始めた「中期計画」を指針に、事業を実施していく。

具体には、各事業の講演会、フォーラム等において、オンラインの活用を図り、より多くの参加を得られるよう実施すると共に、関係団体等との連携、協働を推進し、事業の一層の浸透を図る。

なお、経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるが、より一層創意工夫するとともに、特定費用準備資金制度を活用して、収支予算の平準化に努める。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2023 年のコスモス国際賞（第 30 回）事業を実施するとともに、30 回を記念した行催事と併せて実施する。

(2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局 (BIE) が実施し、当協会が協力する「BIE コスモス賞」については、次の開催となる「2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)」に向け、BIE と協議を進める。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」(提唱：農林水産省及び国土交通省)を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

2. 助成・協働事業

(1) 花博自然環境助成事業 (調査研究、活動・行催事)

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究」、「活動・行催事」の助成を実施する。なお、令和 4 年度まで設けていた「復興活動支援」については、令和 5 年度からはこれに統合し、実施する。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

協会事業に関係する学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」については、引き続き対面及びオンラインにより実施する。

なお、「小学校講師派遣事業」等の動画を収録し、ソーシャルメディアにて活用する「花博チャンネル」を継続実施する他、コスモス国際賞受賞者紹介読本の刊行等を行う。

また、「全国高校生『地域の自然』甲子園」（通称「ネイチャー甲子園」）を令和5年度から新たに実施する。

一方、「自然観察教室」の共生ツアー（エクスカージョン）は、調査研究・資料収集事業へ移行する。

（2）都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力するとともに、各団体が実施する都市公園制度150周年関連事業に参画する。

（3）普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観を表彰する「みどりのまちづくり賞」に参画する。

当協会設立30周年記念事業として「2025年日本国際博覧会」の機運喚起と街の緑化をめざした「万博の桜2025」については、引き続き実行委員会事務局として、PRや寄附の受け入れ等を行う。

情報発信については、「コスモス国際賞受賞記念講演会」をハイブリッド型（リアル・オンライン）で開催し、情報発信に努める。また、情報誌『KOSMOS』の刊行を引き続き行うと共に協会ホームページの充実を図る。

花の万博資料や当協会の蓄積情報のアーカイブとしてのデータベース化を引き続き進める。

また、「自然と人間との共生フォーラム」を引き続き実施する。

（4）国際交流事業

令和5年度に開催されるドーハ国際園芸博覧会への政府出展に協力する。

また、日本に避難しているウクライナ留学生にこころの癒しのために花を贈る「フラワープレゼント」を実施する。

4. 調査研究・資料収集事業

生物多様性等に関する調査については、花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行う。

また、過年度助成団体等との連携や、協会事業に沿った企業のSDGsやメセナの取り

組みを調査し、協働の方策を検討する。

さらに、次世代育成事業から移行した「共生ツアー（エクスカージョン）」は、関西広域連合と連携し実施する。

令和5年度収支予算書（損益計算方式）

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	4,200,000	4,200,000	0	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	228,800,000	215,800,000	13,000,000	
受取寄付金				
受取寄付金振替額	3,500,000	4,500,000	△1,000,000	
経常収益計	236,500,000	224,500,000	12,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	216,885,326	216,270,280	615,046	
役員報酬	8,792,000	8,400,000	392,000	
給与手当	35,305,986	35,432,500	△126,514	
法定福利費	7,090,000	6,765,500	324,500	
退職給付費用	1,705,310	1,509,160	196,150	
賃金	2,690,000	2,690,000	0	
職員厚生費	176,032	156,120	19,912	
会議費	4,080,000	2,948,000	1,132,000	
旅費交通費	16,765,300	11,492,102	5,273,198	
通信運搬費	3,474,498	3,195,298	279,200	
広告費	220,000	800,000	△580,000	
消耗什器備品費	112,000	112,000	0	
委託費	50,076,000	53,090,500	△3,014,500	
消耗品費	2,520,000	1,350,000	1,170,000	
印刷製本費	2,113,000	1,644,000	469,000	
光熱水料費	2,940,000	2,520,000	420,000	
賃借料	3,690,000	3,717,000	△27,000	
使用料	3,530,000	2,730,000	800,000	
諸謝金	9,158,000	8,636,000	522,000	
負担金・会費	10,300,000	14,550,000	△4,250,000	
助成金支出	10,000,000	13,140,000	△3,140,000	
租税公課	431,000	52,000	379,000	
手数料	710,000	479,000	231,000	
賞金支出	40,110,000	40,000,000	110,000	
保険料	217,000	217,000	0	
雑費	679,200	644,100	35,100	
管理費	50,214,674	53,219,720	△3,005,046	
役員報酬	3,768,000	3,600,000	168,000	
給与手当	28,894,014	32,642,500	△3,748,486	
法定福利費	5,450,000	5,749,500	△299,500	
退職給付費用	1,394,690	1,390,840	3,850	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
職員厚生費	143,968	143,880	88	
会議費	360,000	282,000	78,000	
旅費交通費	1,900,000	719,998	1,180,002	
通信運搬費	330,002	360,002	△30,000	
消耗什器備品費	48,000	48,000	0	
委託費	2,964,000	3,630,000	△666,000	
消耗品費	330,000	363,000	△33,000	
光熱水料費	1,260,000	1,080,000	180,000	
賃借料	1,470,000	1,500,000	△30,000	
使用料	570,000	450,000	120,000	
諸謝金	162,000	270,000	△108,000	
負担金・会費	600,000	690,000	△90,000	
租税公課	171,000	9,000	162,000	
手数料	285,000	186,000	99,000	
保険料	93,000	93,000	0	
雑費	21,000	12,000	9,000	
経常費用計	267,100,000	269,490,000	△2,390,000	
当期経常増減額	△30,600,000	△44,990,000	14,390,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△30,600,000	△44,990,000	14,390,000	
一般正味財産期首残高	184,741,010	215,867,050	△31,126,040	
一般正味財産期末残高	154,141,010	170,877,050	△16,736,040	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	3,500,000	4,500,000	△1,000,000	
一般正味財産への振替額	△3,500,000	△4,500,000	1,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,876,155,321	11,140,700,227	△264,544,906	
指定正味財産期末残高	10,876,155,321	11,140,700,227	△264,544,906	
III 正味財産期末残高	11,030,296,331	11,311,577,277	△281,280,946	